

環境政策 環境にやさしい循環型社会が営まれるまちをめざす

【環境政策の目標】〔総合的目標〕

環境負荷の低減につながる3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を基本として、天然資源の消費を抑制し、排出された廃棄物の適正な処理を進めるとともに、資源化などの先進的な環境技術の導入やごみの発生・排出抑制につながる市民、事業者、市の各主体の環境配慮行動を促すことで、都市の利便性や活気を保ちつつ、環境にできる限り負荷をかけない循環型社会の実現をめざします。

環境要素		環境要素の目標
資源・廃棄物		環境負荷の低減につながる3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を基本として、天然資源の消費が抑制され、排出された廃棄物の適正な処理が進められていること
環境項目	環境項目の目標	指標
資源・廃棄物	環境負荷の低減につながる3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を基本として、天然資源の消費が抑制され、排出された廃棄物の適正な処理が進められていること	<input type="checkbox"/> ごみ焼却量 <input type="checkbox"/> 市民一人一日当たりのごみ排出量 <input type="checkbox"/> 資源化量 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物排出量 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物再生利用率

総合的な評価に用いる指標

施策の方向	指標	総合的な評価に用いるもの
Ⅱ-1 一般廃棄物対策の推進	ごみ焼却量	○
	市民一人一日当たりのごみ排出量	○
	資源化量	○
Ⅱ-2 産業廃棄物対策等の推進	産業廃棄物排出量	○
	産業廃棄物再生利用率	○
	産業廃棄物最終処分量	○

施策の方向 Ⅱ-1 一般廃棄物対策の推進

指標	目標・現状・指標がめざす方向
ごみ焼却量	【目標】2013年度までに37万トン（※） 【基準年度】420,517トン（2009年度） 【指標がめざす方向】少ないほうが良い
上記目標の達成に向けて、次の点に留意するものとする。	
市民一人一日当たりのごみ排出量	【目標】2013年度までに1,128g（※） 【基準年度】1,069g（2009年度） 【指標がめざす方向】少ないほうが良い
資源化量	【目標】2015年度までに20万トン（資源化率35%）（※） 【基準年度】129,351トン、23.5%（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い

※ 「川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）」*に基づく目標数値

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：ごみ焼却量 ・392,926トン（対前年度：8,967トン減少、対基準値：少ない）	3	2
■指標：市民一人一日当たりのごみ排出量 ・1,021g（既に目標達成）	3	
■指標：資源化量 ・143,054トン（資源化率26.7%）（対前年度：1,631トン減少、対基準値：少ない）	なし	

現 状

2003（平成15）～2012（平成24）年度のごみ焼却量等の実績

年度	2003 基本計画 基準値※1	2007 前行動計画 基準値※2	2009	2010	2011	2012	
日数	366	366	365	365	366	365	
人口（人）※3	1,293,618	1,369,443	1,409,558	1,425,678	1,430,773	1,439,164	
焼却ごみ(t)	500,954	449,776	420,517	412,712	401,893	392,926	
内訳	家庭系 焼却ごみ	371,367	309,169	300,212	296,368	278,553	275,587
	普通ごみ	355,396	301,468	293,313	289,213	270,732	267,759
	粗大・小物金属 可燃分	15,971	7,701	6,899	7,155	7,821	7,828
	事業系 焼却ごみ	128,400	139,880	119,719	115,829	122,899	116,889
	道路清掃ごみ	1,187	727	586	515	441	450
資源化量(t)※4	118,223	140,468	129,351	128,664	144,685	143,054	
資源化率(%)	19.1%	23.8%	23.5%	23.8%	26.5%	26.7%	
内訳	粗大・小物金属 資源化分	7,313	4,178	3,732	3,785	4,004	3,938
	空き缶	8,306	7,890	7,420	7,327	7,312	7,304
	空き瓶	11,859	10,966	10,930	10,969	11,577	11,653
	ペットボトル	2,485	4,662	4,655	4,872	5,167	5,103
	ミックスパー		269	1,172	1,865	10,618	10,662
	プラ製容器包装				269	3,896	3,811
	資源集団回収 ※5	51,237	54,446	47,547	46,767	48,361	47,978
	その他※6	670	394	360	342	301	266
事業系資源化物	36,354	57,663	53,535	52,468	53,449	52,339	
乾電池(t)	290	255	247	272	295	245	
総排出量(t)※7	619,467	590,499	550,115	541,648	546,873	536,225	
1人1日当たり ごみ排出量(g)※8	1,308	1,178	1,069	1,041	1,044	1,021	

※1 川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）

※2 川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）の前行動計画（2009～2012年度）

※3 人口は、各年度10月1日現在の人口に基づきます。

- ※4 資源化量とは、資源集団回収（古紙・ダンボール等）、市分別収集（空き缶・空きびん・ペットボトル・小物金属・ミックスペーパー・プラスチック製容器包装、粗大ごみ）、事業系資源化物、その他を含めて算出したものです。
- ※5 古着の拠点回収等を含みます。
- ※6 その他とは、生ごみ資源化物及び自主回収等の合計値です。
- ※7 総排出量＝焼却ごみ＋資源化量＋乾電池
- ※8 1人1日当たりごみ排出量とは、一般家庭（家庭系焼却ごみ・家庭系資源物）、事業者（事業系焼却ごみ・事業系資源化物（事業活動に伴い出される資源物））、その他（道路清掃ごみ）の合計を人口及び年間日数（うるう年の場合は366日）で除したものです。

■ごみ焼却量

市内の一般廃棄物の排出量は、ごみ非常事態宣言を行った1990年度をピークに減少し、2012年度の市内総焼却量は、392,926トンで、前年度に比べて8,967トン、2.2%の減少となりました。

その内訳を見ると、家庭系ごみは275,587トンで、前年度に比べて1%減少し、事業系ごみは116,889トンで、前年度に比べて5.1%減少しました。

■市民一人一日当たりのごみ排出量

2012年度の事業系ごみを含めた市民一人一日当たりの一般廃棄物排出量は1,021gで、前年度の1,044gに比べて2.2%減少しました。

■資源化量

2012年度の一般廃棄物の総排出量は536,225トンでした。これらのうち143,054トンは、資源集団回収（古紙・段ボール等）、市分別収集（空き缶、空き瓶、ペットボトル、小物金属、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装、粗大ごみ）、事業系資源物（梱包材・段ボール等）、その他（生ごみリサイクル）の資源化量として算出しています。392,926トンは処理センターで焼却処理し、残灰（保管分を除く）は浮島2期埋立地*に埋立処分しています。